



CAIスクールREPORT

Gakken

学研CAIスクール 加古川校 TEL.079-454-1447

今年も、新型コロナウイルス感染拡大の影響で制限されることの多い夏となりましたが、みなさんは、元気に過ごすことができましたか？ 1日も早い収束を願いつつ、自分のできることを頑張ってを進めていきましょう。（イラスト 撮るねっと/PIXTA）



だれでも分かる

教育情報 & ニュース



(イラスト yoshi / PIXTA)

東京オリンピック閉幕 メダル獲得数は史上最多！

新型コロナウイルスの影響で史上初の1年延期となった第32回夏季オリンピック東京大会が8月8日に閉幕しました。東京の国立競技場で行われた閉幕式では、次の開催都市にオリンピックの旗を引き継ぐ「フラッグハンドオーバーセレモニー」が行われ、次回2024年大会を開くパリ市長に渡されました。

今回のオリンピックでは、日本のメダル獲得総数は58個で、夏冬を通じて日本の最多記録となりました。また、スケートボード・女子パークで開心那選手が最年少12歳11か月でメダルを獲得するなど、新競技や若い世代の活躍に注目が集まりました。多くの会場が無観客となり、出場する選手や関係者には毎日の検査や外出自粛などの厳しい感染防止対策が行われましたが、一部の選手に陽性が出るなど、コロナ禍での運営の難しさも見られました。みなさんはどのような印象を持ったでしょうか。

8月24日からは、引き続きパラリンピック大会が始まります。

スポーツだけじゃない！ 数学五輪でもメダル獲得

この夏、世界の高校生が数学の難問を解いて競う第62回国際数学オリンピック（IMO2021）が開催されました。日本からは6人の高校生が参加し、金メダル1個、銀メダル2個、銅メダル3個を獲得しました。

国際数学オリンピックは「世界各国・地域の数学的才能に恵まれた若者を見出し、その才能を伸ばすチャンスを与えること、また世界中の数学好きの若者や教育関係者であるリーダーたちが互いに国際交流を深めること」を目的とし、20歳未満で大学教育を受けていないことが参加条件とされています。今年大会はロシアで開かれる予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりオンラインで実施され、107か国・地域から619人が参加しました。国別順位では、日本は25位でした。

(1位は中国、2位はロシアでした。) 来年はノルウェーで、再来年は日本で開催される予定です。

世界各地で異常気象 日本では大雨

この夏も、秋雨前線などの影響で、西日本で記録的な大雨が続き、長崎県、熊本県、広島県など、特別警報が発表された地域を中心に川の氾濫や土砂災害などが起こりました。また世界に目を向けると、カナダ西部やアメリカ西部で気温が50度近くに上昇したり、ドイツ西部などで記録的豪雨が起きたりしています。

国連の「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）」の報告書によると、世界の平均気温が2021～40年で100年前に比べて1.5度上昇し、異常気象や海面上昇などが深刻化する可能性が高いとしています。私たちも、地球環境のためにどうするべきか、しっかり考えたいですね。

自分に合った
学校を見つけよう！

志望校はこう選ぼう！



夏休みが明けて、高校入試まで半年。中3のみなさんはそろそろ志望校を具体的に考える時期ですね。志望校を決めるの情報収集や学校見学は大切です。今回はそのポイントについてお伝えします。中1・中2のみなさんも参考にしてください。

(イラスト・写真 emma / PIXTA)

しっかり情報収集して、入試を有利に！

高校生活の3年間は、人間関係の面でも勉強の面でも、大きく成長する時期です。充実した3年間にするためにも、自分に合った学校を選びたいものです。そのためにも、しっかり志望校や入試に関する情報収集をしましょう。学校によって、内申点と当日の試験の得点だけでなく、部活動や生徒会などの経験や、検定試験の級が評価・加算の対象となる場合があります。早くから情報を集めていけば、入試を有利にすることができます。

情報収集には、保護者や学校の先生の協力が不可欠です。インターネットや入試の情報誌などを利用しながら、ぜひ、力を合わせて入試を乗り切りましょう。

〈どんな入試情報を集めればよい？〉

- 入試のスケジュール
(出願日や試験日のほか、入学手続きの締め切り日も大切です。)
- 推薦入試・一般入試の方法
(面接の有無、評価・加算対象の有無、内申点と試験得点の割合など)
- 出願方法
- 奨学金や優等生制度の有無
- 学校説明会や文化祭などの日程 など

おさえよう！ 高校選びのポイント

志望校を考えるとき、「何となくよさそうだから」のような漠然とした印象や、「偏差値が自分にちょうどいいレベル」といった偏差値の数だけで決めてはいけません。確かに自分が感じた印象や偏差値も大切ですが、右に挙げたようないろいろなポイントから総合的に考えましょう。

例えば、「公立か？ それとも私立か？」という観点ですが、都道府県や市などの自治体が運営する公立校は、学費の面では私立高よりもかなり安く、また地域密着の度合いも高くなります。また私立校は、「施設がより充実している」、「大学入試に向けた高いレベルのカリキュラムを前倒して勉強する」などの魅力もあります。何を基準にして、どこを重視するかは人それぞれ。保護者や学校の先生とよく相談して考えましょう。

可能なら、学校見学へ行こう

志望校選びのために、実際に高校を見学して、雰囲気を知ることも大切です。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、学校説明会や文化祭などの行事への参加・見学を制限している場合もありますが、可能であれば実際に学校へ足を運びましょう。学校説明会に参加するための予約が必要なこともあるので、必ず学校のホームページなどを随時確認しておきましょう。

〈高校選びのポイント例〉

- 公立？ それとも私立？
- 校風は活動的？ 落ち着いた？
- 普通科？ それとも専門学科？
- 入りたい部活動はある？
- 大学の進学実績は？
- 家から学校までの通学時間は？
無理なく通えるか？
- 制服はあるか？ 私服通学か？

学校説明会では、カリキュラムや学校の特徴、進学実績などを、文化祭では実際の学校の雰囲気や生徒の様子がわかるよ。

